

第11回 道徳教育合同研修会

テーマ：これまでの道徳教育と新しい「道徳科」への提言

道徳教育合同研修会は、道徳教育の実践研究に自主的に取り組む団体が協力して、全国的な共同・連携を考えるとともに、次世代のリーダーの育成を目指して実施するものです。

(テーマについて)

現在、新しい「道徳科」のキーワードとなります「考え・議論する道徳」、「問題解決的な学習」、そして「体験活動を活かす」ことなどについて、情報を交流する時期にあります。一方、10年に一度の学習指導要領改訂のなかで、これまでの道徳教育や「道徳の時間」の実践を、大きな視点で見直し、次に引き継ぐことと改善すべきことを、明確にする節目でもあります。

そしてこれらの課題は、普段のご自身の「道徳の時間」の実践に、どう活かせるのかという問題に繋がってこそ意義が生まれます。今、この3つのことをバランスよく整理して、先生方お一人お一人が次段階への一步を明確にしていくことが大切ではないでしょうか。

合同研修会では、これまでの道徳教育の流れを踏まえ、新しい「道徳科」において、どのように実践をしていくべきなのかを考えます。今回は、各団体を代表した講師からテーマにそってご発表をいただきます。

日時 6月26日(日) 10:00~15:00

場所 上廣倫理財団 1F UFホール

(〒102-0075 東京都千代田区三番町6-3)

参加費 1,000円 (ランチミーティングのお弁当代として)

プログラム

- | | |
|-------|--|
| 10:00 | 開会
共通テーマ「これまでの道徳教育と新しい「道徳科」への提言」にそって
発表者が提案内容を設定します |
| 10:05 | 講座1 上地 完治 (琉球大学教授)
: 沖縄県道徳教育フォーラム |
| 10:50 | 講座2 櫻井 宏尚 (福島県郡山市立行健小学校)
: 心の教育研究会 |
| 11:30 | 昼食 (30分) お弁当を配付致します。
ランチミーティング 授業案検討会
(小学校) (進行) 筑紫区道徳サークル 資料「手品師」
(中学校) (進行) SAME 研究会 資料「笛」 |
| 13:00 | シンポジウム「考え・議論する道徳とは」
シンポジスト: お一人20分提案×4名
坂本 哲彦 (山口県宇部市立東岐波小学校校長)
服部 敬一 (大阪市立豊仁小学校校長)
富岡 栄 (日本大学理工学部講師)
田村 博久 (石川県白山市立白峰小学校校長)
(休憩)・討議 (14:20~15:00) |
| 15:00 | 閉会 |

第11回 道徳教育合同研修会 参加申込票

申込み先 「公益財団法人上廣倫理財団事務局」担当 上田 博次 まで
〒102-0075 東京都千代田区三番町6番地3
Tel 03-3261-8711 Fax 03-3261-8747 E-mail ueda@rinri.or.jp
案内(心の教育研究会ホームページ) ホームページ <http://cocoro.gr.jp>

定員 (60名程度予定)

申込み日 平成 年 月 日

ふりがな		ふりがな	
氏名		ご所属	
連絡先	〒 (ご自宅・勤務先 ○でお囲み下さい)		
	tel.	Fax.	
	E-mail		
質問・要望 等ございましたら ご記入ください			

道徳教育合同研修会とは

道徳教育合同研修会は、道徳教育の実践研究に自主的に取り組む下記の団体が協力して、全国的な共同・連携を考えるとともに、次世代の育成を目指して実施するものです。

現在の活動は、年3回のペースで東京及び地方で、研修会を開催しております。

(第1回目：6月下旬～7月上旬、第2回目：10月から11月、第3回目：1月下旬)

合同研修会では、全国様々な実践研究が紹介されるとともに、団体ごとの提案を全体で協議することによって、多角的に道徳教育・道徳授業を学ぶことが出来ます。

合同研修会では、全国より自主的な研究会を組織する参加団体を募集しております。ご関心のあられます方また参加をご希望の方は、担当までご連絡下さい。(参加団体には研修の案内や旅費の補助などが受けられます)

道徳教育合同研修会・参加団体

青森県（津軽地区）道徳教育研究会

津軽地区（弘前市）を中心にして会員20名ほどで道徳教育研究会を結成して活動している。事務局を弘前大学教育学部附属小学校に置き、月1回程度集まって道徳授業の悩みや指導案検討会などを行っている。附属小などの公開授業の前後は毎週集まり活動している。

紹介 毛内 嘉威（前青森県 総合教育センター指導主事）

教育研究団体「道徳のチカラ」

『とっておきの道徳授業』シリーズ（日本標準）現在、小学校13巻、中学校12巻
機関誌『道徳のチカラ』年に4回発刊、各地でのイベント開催
HPの運営・・・「道徳のチカラ」で検索してください。

紹介 佐藤 幸司（道徳のチカラ代表）

心の教育研究会

年5回の定例研究会に加え、年3回程度の研修会及び年1回の大会を行っている。HPでの情報発信をし、2013年に『あなたが道徳授業を変える』書籍を発刊した。会員は全国から集まっている。

紹介 櫻井 宏尚（心の教育研究会代表）

柏市道徳教育授業力アップ研修会

千葉県、とりわけ柏市を中心に東葛飾地方の若手教員を中心に道徳の時間の基礎基本を教え、今後の道徳教育の発展に向けて、切磋琢磨することのできる機会を設ける。

紹介 広中 忠昭（千葉県 柏市立藤心小学校校長）

大阪道徳教育セミナー

月1回の研修会（研究発表、実践報告、ブックトーク、ケーススタディ等）年1回の合宿（他の研究会との合同研修会）、研究発表会。道徳教育に関心のある若手を対象に研修を深める。

紹介 服部 敬一（大阪市立豊仁小学校校長）

石川県道徳教育研究協議会（IMA）

統合的道徳授業プログラムの実践研究を続けて四半世紀が過ぎました。一つの内容項目に、続けて複数時間の道徳授業をプログラムする意義と効果を、今後も授業実践を通して訴えていきます。

紹介 田村 博久（石川県白山市立白峰小学校校長）

「学校と道徳教育」（SAME）研究会

年に2回（8月と秋から冬の間に1回）実施している。8月は、模擬授業や実践報告及び研究協議を行い、その後、テーマを決めてシンポジウムを行なっている。2回目（秋 or 冬）はSAME会員の所属校の研究会の参加を研修会としている。

紹介 櫻 恵子（前広島県 前呉市立三津口小学校校長）

やまぐち道徳教育サークル

平成29年度に山口県で開催する全小道の全国大会（会場校：周南市立德山小学校、岐山小学校）に向けて活動している。改正学習指導要領を中心に、幅広く様々な指導方法について学びたいと考えている。

紹介 坂本 哲彦（山口県 宇部市立東岐波小学校校長）

筑紫区道徳サークル

9月から3月まで、毎月第1火曜日午後7時から8時30分まで研修を行っている。研修の内容は、地区や県に応募する論文や各学校での指導案の審議をしたり、道徳研究校の研究内容を学ぶなどの研修を行っている。会員は30名程度。毎回、10名ぐらいの参加者がある。

紹介 税田 雄二先生（福岡県 春日市立春日小学校教頭）

沖縄県道徳教育フォーラム

琉球大学教育学部が実施主体となった「21世紀沖縄子ども教育フォーラム」の申請プロジェクトのひとつとして、本研究団体の活動がスタート。事業自体は、平成22年度で終了した。その後は研究団体名とメンバーを継続し、理論と実践の融合、効果的な授業実践の展開、地域内連携ネットワークの構築などをめざして活動を展開。

紹介 天願 直光 先生（沖縄県 沖縄市立諸見小学校）

KTO道徳授業研究会

子どもたちが前のめりになって話し合い、授業が終わっても考え続ける道徳学習スタイルを求めて、2011年に立ち上げた実践研究主体の研究会。道徳授業のK（壁）をT（扉）に変えてO（オープン）することを合い言葉に、年2回の公開研、月1回の定例会を基本として活動しています。

加藤 宣行（東京 筑波大学附属小学校）

子どもと楽しむ道徳授業研究会

本年度、愛知県丹波地区の道徳授業に関心のある教員で発足した。月1回土曜日午後に指導案検討や実践紹介、授業研究などを行っている。会員は20代から60代まで23名。

2015年10月には、心の教育研究会と共催で道徳授業研修講座を開催した。

紹介 松野 卓郎（愛知県大口町立大口南小学校）



三番町UFビル 案内図

<UFホール〔1階〕、上廣倫理財団〔5階〕>

